

質問カード

トランスの方のお話は何度か聞く機会がありましたが、ゲイの方のお話をこうやって聞くの初めてでした。共感することがたくさんありました。

私は身体、心、表現は男、ゲイよりのバイです。

信頼できる人、4人にカミングアウトしました。心が解放されました。

お話を聞いてよかったのですが、LGBTにあまり理解のない方は私のように、体・心・表現が男のゲイがいること、まだまだ理解がないのではと思います。

すこしお話いただけたら、うれしいです。

→講演のなかでもお話したのですが、「LGBTQ/セクシュアルマイノリティの人達は和歌山にはいません」と言われていたことを私達が経験した事実があったように、「知らない」ことで理解が広がらないことに繋がっている状況が今でも続いています。

「自分の身近にいないから、知らないし、何もしない」という状況になっています。

「自分の身近にいない」ということは、セクシュアリティについて悩んでいる、違和感があることを言わせない、言いたくないと思わせてしまう社会の環境があるかもしれないということがあるかもしれません。

「男らしさ」や「女らしさ」を求められること、「結婚して、子供を育てて、家を継がないといけない」という人生の選択肢を狭くしてしまうことも「自分の身近にいない」社会環境にさせている背景にあるかもしれませんね。

講演でお話をしたSOGIEで表現されるように、セクシュアリティは多様です。多様性があるセクシュアリティには人生の様々な選択肢が多様になっていきます。

「LGBTQ/セクシュアルマイノリティ」を知る機会も多様にはなっていますが、今回のように直接お話をする機会はまだまだ少ない状況にあるのかなと感じています。

まず、「知る」機会を積み重ねることが大切で、そこから理解が広まっていくことができれば幸いです。

